

## 米軍機の安全管理等について（要請）

平成17年4月14日、米空母艦載機 EA6B（ブラウラー）からはしごを、また、FA18（スーパーホーネット）からも模擬弾のフィンを紛失したことに米軍が気付いた、との連絡を横浜防衛施設局から受けました。

もし落下が事実であるならば、人口密集地に米軍基地を抱える県民は、非常に大きな恐怖と不安を感じる事となり、誠に遺憾であります。

当協議会は、これまでも、機会あるごとに、飛行の安全対策等の確立を要請してきたところであります。

しかし、昨年7月のヘリコプターからの銃弾落下事故、12月のホーネットからの部品落下事故、昨年8月と本年2月のヘリコプター不時着事故など、航空機による事故が県内で続発している中で、1日に2件もこのような事態がある、ということは、米軍機の安全管理等に対する不安を県民に与えるものであります。

また、航空機事故の可能性があるにもかかわらず、いまだ何ら公表がされていないことも誠に遺憾であります。

県民の生命、生活及び財産を守る観点から、貴職におかれては、今後このようなことが起きることのないよう、次のことについて、より一層の配慮と対策を講ずることを（米軍に申し入れるよう）強く要請します。

※（ ）内は日本側への要請に挿入します。

- 1 航空機の整備点検及び住民の安全に十分配慮した飛行など、安全管理を徹底すること。
- 2 今回の紛失の経緯を十分調査し、早急にその原因を究明し、再発防止に万全を期すること。また、これらにつき早急に公表すること。
- 3 航空機事故については、発生の可能性が判明した段階で速やかに公表すること。

平成17年4月18日、19日

在日米海軍司令官	フレデリック・R・ルイ少将	}	殿
在日米海軍厚木航空施設司令官	リード・A・エクストロム大佐		
外務大臣	町村 信孝		
防衛施設庁長官	山中 昭栄		

### 神奈川県基地関係縣市連絡協議会

会長	神奈川県知事	松沢 成文
副会長	横浜市長	中田 宏
副会長	横須賀市長	沢田 秀男
副会長	相模原市長	小川 勇夫
	藤沢市長	山本 捷雄
	逗子市長	長島 一由
	大和市長	土屋 侯保
	海老名市長	内野 優
	座間市長	星野 勝司
	綾瀬市長	笠間城治郎